



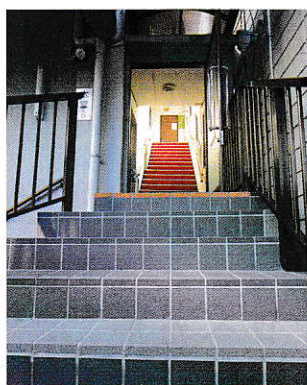
昨年の元旦会にて



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096) 383-4874
FAX (096) 383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
http://www.facebook.com/kakuhouji



本堂へ続く高齢者には辛い階段

覚法寺では、昔ながらの階段では本堂に上がれない高齢者や車椅子の方がご参拝できるように致したく存じます。以前にもお知らせ致しましたとおり、熊本地震にて損壊いたしました旧耐震基準の本堂(集会所も含む)や旧納骨堂を、新耐震基準でユニバーサルデザインを取り入れ、エレベーターやバリアフリー化した「災害に強く人にやさしいお寺」にリニューアルすべく計画を進めております。

また、この度の大改修計画に
関しまして既に有志の方々から、
合計630万円のご寄進を頂き
ました。この場をお借り致しま
してご報告と共に、早々のご懇
志篤くお礼申し上げます。

SDGsの誰一人取り残さず
(Leave no one behind) 持続可能
な社会の実現の理念に則り、ご
高齢の方や障がいのある方が安
心して本堂にお参りできるように
、お寺の在り方を進めていき
たく存じます。

現在覚法寺では、熊本県
SDGs登録制度に申請中です。
現在小中学校でもSDGsに
ついて学ぶ機会が増え、就職に
おいても企業を選ぶ際に社会的
貢献度の高いSDGsを取り入
れた企業のイメージは高く、関
心度の高さが窺えます。
一般消費者も商品等を選ぶ際
に、SDGs活動に取り組んで
いる製品に付加価値を見出し、
それを選択する意識が高まっ
ています。

SDGs登録の意義

ご本尊について
のお問い合わせ

参拝部 ☎075(371)5181 まで
覚法寺 ☎096(383)4874 まで

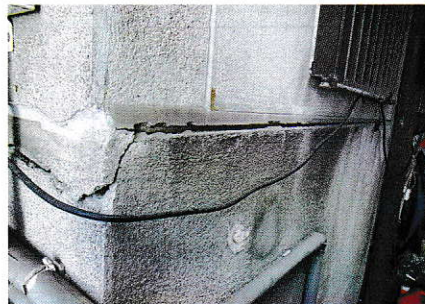
ご本尊は本山から
お迎えしましょう



新納骨堂完成予定図



納骨堂裏側の沈下部分のひび割れ



本堂裏側の沈下部分のひび割れ

住職雑記

昭和三十八年九月、本山より熊本に御巡教で当時のご門主様がお立ち寄りされました。その際に記念植樹していただきましたイチヨウの木が、とうとう力尽き枯れてしまいました。▼これは覚法寺の現本堂が完成しました昭和三十五年から、三年後のことであつた訳ですが、当時としては最新の技術をもつて完成された本堂で、ご門主様をはじめ京都の方々を覚法寺にお迎えされました門信徒の方々も、誇らしい気持ちであつたことと拝察いたします。▼それから五十九年が経ち、残念ながら力尽きたイチヨウの木を伐採してもらいました。伐採する前に合掌されている造園業者さんの姿をみて、いのちの年月を思わずにはおられません。▼伐採した木はそのまま残しまして、何かに使わせていただくかと考えております。▼嬉しいことに、枯れた木の横にイチヨウの新芽が生えてくれたため、こちらに命をつないで頑張っております。



伐採作業中



完成当初の本堂

八代へタコ焼きボランテイヤ

球磨川沿いの豪雨水害にて、坂本町で被災されました方々が生活されております八代市内の仮設団地へお伺いいたしました。コロナ禍の感染状況も縮小したタイミングに合わせ、タコ焼きを仮設の皆さまにふるまわせていただきました。



この日にまたお仏壇をお届けいたしました！

覚法寺に美品でご不要になった小さなお仏壇が二つ預けられましたので、今回も非常に美しいお仏壇をお渡しいたしました。



建築企画・設計・監理

有限会社

三島建築事務所

代表取締役 三嶋 統吾
一級建築士

〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号

TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX **096 (359) 7720**

浄土真宗本願寺派
九州地区門信徒の集い

第24回 仏教壮年
熊本大会に向けて!

令和2年より新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われ、熊本教区、各組、単位寺など、イベントや研修会活動に大きな影響を受け、ほとんど中止になりました。

教区仏壮理事会においては、別院開催では人数制限を設け、リモート参加での会議です。

令和4年10月30日は、第24回 仏教壮年熊本大会開催です。

平成28年の熊本地震、一昨年7月には人吉、球磨、八代、芦北地区の豪雨災害があり、教区あげての復興支援に協力致しました。仏教壮年会もできる限り、災害地区に入り片付け作業に尽力致しました。また全国の寺院、門信徒、その他同朋から沢山の支援感謝です。

今後、熊本教区全体の力を合わせて、第24回 仏教壮年熊本大会成功に向けて準備して行きます。覚法寺門信徒の皆様にもどうぞご協力お願い申し上げます。

合掌(熊本教区仏教壮年会 理事長 陣内巧)

覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動 (秋より初冬へ)

秋頃からコロナに対する規制も緩和され色々な活動が徐々に復活してまいりました。感染者も少なくなりリスクレベルが2になった事から蓮華の会も10月・11月・12月は活動を再開致しました。皆さまと再会し対面でお話をする事がとても嬉しくて会話も弾みました。あたり前の事ができる喜びを改めて感じた次第です。

まだまだ油断ができない状況ですがコロナと向き合いながら活動を進めてまいります。



熊本市 PR 特命大使として活躍されている花童(はなわらべ)さんに来ていただきました。小学校低学年から高校生までの計10名が、限られた時間の中で皆さまと一丸となって楽しいひと時を過ごしました。踊りの中で、ひとつひとつの所作は とても美しく力強かったりあどけなさが見えたり、彼女たちの世界にあつという間に引き込まれてしまいました。



お勤めの後、節談説教のビデオ・法務員の高原師による法話をお聴聞致しました。



お勤めの後、お煤払い・おみがきを致しました。今回は、仏教壮年会の方々と一緒に一年間のほこりを払い、新しい年を迎える為、今年最後にご奉仕いただきました。(今年も一年、大変お世話になりました。)



今年の抱負

昨年は、SDGs(2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標)を学ぶ二年でありました。覚法寺の県へのSDGs登録申請を担ったこと。また、『SDGs2030年に向けた現状と課題』高校生によるシンポジウムに参加等々。特に、その高校生によるシンポジウムにより大きな学びがありました。

それは、高校生自らが地球環境問題は何か、その解決をするために自分にできることは何か。その解決策を地域から世界へ広める為に、自分のなすべきことを模索し努力していることを知りました。私は、その高校生達に深く感銘したと同時に、自分自身を深く反省しました。私は、浄土真宗のみ教えを弘める為は何を目指していたか?何をどうしたか?自問自答したところ、恥ずかしながら反省のみが残りました。

そこで、今年の抱負は「浄土真宗のみ教えを弘める努力を!目指すは世界平和。仏教に通じるSDGsの目標、弱い立場の方も誰一人漏らさず救う包摂性のある社会に向けて!」これを、今年の抱負であり一生の課題と致します。

(音光寺)

